

**製品名: PPP4C ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01448**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 35 kDa; Observed MW: 35 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PPP4C
別名	PP4; PPX; PP4C; PPH3; PPP4
遺伝子 ID	5531
SwissProt ID	P60510
免疫原	ヒト PPP4C の組み換えタンパク質

**背景**

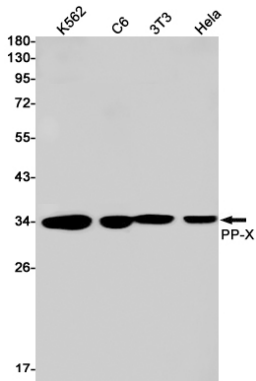
真核生物において、タンパク質のセリンおよびスレオニン残基におけるリン酸化および脱リン酸化は、分裂、恒常性維持、アポトー

シスなど、幅広い細胞機能を制御する上で不可欠な手段です。このプロセスに深く関与するタンパク質群の一つが、タンパク質ホスファターゼです。一般的に、タンパク質ホスファターゼ（PP）ホロ酵素は、調節サブユニット、可変サブユニット、および触媒サブユニットからなる三量体複合体です。タンパク質ホスファターゼ触媒サブユニットには、PP1、PP2A、PP2B（カルシニューリン）、およびPP2Cという4つの主要なファミリーが同定されています。さらに、タンパク質ホスファターゼ触媒サブユニットであるPPX（別名PP4）は、新しいPPファミリーの推定メンバーです。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



PPP4C 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の PPX のウエスタンブロット分析。